

パチンコ・パチスロ依存問題の予防と解決に取り組む事業・研究への支援

「依存の問題を抱える人を対象とした個別相談・支援」事業

ギャンブルなどに依存問題を抱える人の個別性に着目し、個々に必要とされる支援や対策を的確に提供する

いわゆるギャンブル依存症への対策を進めるために、国や地方自治体に取り組むべき法律として「ギャンブル依存症対策基本法」が2018年に施行された。それに伴い各種の対策が実施されているが、そうした問題にいち早く取り組み、実績を上げている民間団体が横浜市にある。その活動の一端を紹介する。

ギャンブル依存 家族相談

ギャンブル依存とその周辺の問題で悩む家族のための個別相談

経験豊富な相談員が1時間程度、しっかりお話を聴きながら助言します。

- ・パチンコ・パチスロ・競馬などがやめられない
- ・スマホゲームがやめられない
- ・お金からむ問題を創出している
- ・家族管理が苦手
- ・仕事が読めない
- ・自分に自信が持てない
- ・刑事事件を起こした
- ・依存症の治療・支援を受けているがうまくいかない

様々な相談をお受けし、ともに考えます。

ご案内

日程：毎週金曜日
場所：ワンデーポート
横浜市西区新港4-10-3
クボタビル503室
相談時間：10:30/13:30/16:30 ※予約制
相談料：無料
相談員：高津和彦（精神保健福祉士）
橋村厚（司法書士）
ご予約・お問い合わせ：TEL 045-303-2921
予約は1ヶ月前の午前10時から受付（例年5/10の予約は4/10の受付から）

アクセス

主催：認定NPO法人ワンデーポート
共催：認定NPO法人リカバリーサポート・ネットワーク

ギャンブル依存とその周辺の問題を抱える家族のための個別相談会を告知するチラシ

ギャンブル依存症回復（入所）施設として2000年から活動する「ワンデーポート」

我が国初のギャンブル依存症回復（入所）施設として、2000年に神奈川県横浜市で設立された認定NPO法人「ワンデーポート」は、設立直後から個々の利用者の課題に寄り添い、常に新しい視点での支援活動を行ってきた。依存の問題を抱える人やその家族への対面、電話などによる相談・支援、セミナーを通じた普及啓発などを主な事業としている。パチンコ依存問題相談機関として活動する認定NPO法人「リカバリーサポート・ネットワーク」やパチンコ関係団体とも交流を続けている。

ギャンブル等の依存症はもはや国家対策となり、国の定める基本計画のもと、行政機関や医療機関が主導して相談支援事業が行われているが、自分たちが21年にわたる

活動を通じて見えてきた必要な対策とは開きがあると、感じている。依存症には個性があり、必要とされる支援は個々に違うというスタンスに立ち、ギャンブルをやる、やらないではなく、当事者の生活や人生そのものにアプローチすることが重要だと考えている。

そうした前提のもと、昨年度、POSCの助成を活用して、依存の問題を抱える人を対象に、生活の安定を目的とした個別支援の提供に取り組んだ。行政機関や民間の支援団体等からは「依存症は回復できる病気」という声が聞かれるが、実際にはギャンブルに問題を抱えた人の7割程度には併存障害があり、単純化した支援では問題を悪化させてしまうケースが多いことを社会に知ってほしいと思っている。

あらかじめ決められたプログラムではなく個々の背景や事情に合わせた支援を提供

ワンデーポートによる個別支援事業の特徴は、あらかじめプログラムを決めて行うものではなく、その人に必要な支援を提供することである。たとえば、Aさんについては対面で話を聞き、助言をすることで終了することもあれば、Bさんに関しては精神科医による発達検査へ同行することもある。また、Cさんへは入所カリキュラムに従った継続支援を行うなど、それぞれのニーズや問題の背景に沿った支援を提供している。

昨年度は、グループセラピーへの参加（毎日、平均10名）、レクリエーションへの参加（週2回程度、平均10名）、刑事事件を起こした方への司法サポートの実施（2名）、発達検査を目的とした精神科受診資料作成と同行（7名）、

精神障害者保健福祉手帳や療育手帳取得など障がいサービス利用のためのサポートの実施（1名）、障がい福祉サービス利用の手助け（1名）、就労支援（5名）、生活保護申請の同行（5名）などを実施した。

「昨年は150坪の土地を新たに借り、畑作業を拡大した。大根やホウレンソウなどの冬野菜を栽培し、その生育や収穫を通して支援スタッフともども感動を味わうことができた。さらに今年1月以降は、月に1回、支援者も参加して横浜の海側を10km走るランニング会を開いたが、健康的な習慣づくりはギャンブル依存の問題解決に不可欠なことだと確信した。同法人ではこうした事業の成果や課題を会報やSNSなどで発信し、一般への社会啓発にも役立てている。」と話す。



入所者には畑仕事など体を動かすプログラムも実施



ウォーキング大会やマラソン大会への参加など、日常的な余暇も支援

助成団体: 認定特定非営利活動法人 ワンデーポート <http://www5f.biglobe.ne.jp/~onedayport/>



依存問題の当事者に個々のニーズに寄り添った支援を提供

活動に対し、柔軟に助成金を使わせてもらうことで、より個々のニーズに寄り添った支援が提供できました。ギャンブル性障がい（ギャンブル等依存症）は、疫学調査では自己解決が可能とされています。予防や自己解決に特化した助成の運用があってもいいのではないかと考えています。

認定特定非営利活動法人 ワンデーポート
施設長 中村 努さん